

【表 3・(3)】研究成果(4)

サブテーマ名：プロバイオティック、プレバイオティック食素材の開発及び評価 小テーマ名：マイクロカプセル化生菌剤の調製																
サブテーマリーダー 北大院農 教授 浅野行蔵 研究従事者 株式会社森下仁丹 浅田雅宣																
研究の概要、新規性及び目標 研究の概要 研究の独自性・新規性 研究の目標 腸内細菌が生きたまま腸まで届く動物試験用腸溶性マイクロカプセルを開発（フェーズ テーマ） 達成率 100 %																
研究の進め方及び進捗状況 ヒト用に開発されたシームレスソフトカプセル化技術を用いて、動物試験用カプセル調製法の確立 ・動物用腸溶性皮膜の開発 ・カプセル内ビフィズス菌培養増殖能の強化 ・動物用カプセル粒径の検討																
主な成果 マウス用、モルモット用のマイクロカプセル化生菌剤調製法が確立された。 特許件数：0 論文数：0 口頭発表件数：0																
研究成果に関する評価 1 国内外における水準との対比 動物用マイクロカプセル化生菌剤開発の報告例なし。 2 実用化に向けた波及効果 in vivoによるプロバイオティクス機能評価試験が発展する。																
残された課題と対応方針について 特になし																
	JST負担分(千円)							地域負担分(千円)							合計	
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計		
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,030	2,030	0	4,060	4,060	
設備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,500	6,500	0	13,000	13,000	
研究費	0	0	0	2,000	0	0	2,000	0	0	0	4,230	4,230	0	8,460	10,460	
旅費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50	0	100	100	
小計	0	0	0	2,000	0	0	2,000	0	0	0	12,810	12,810	0	25,620	27,620	
代表的な設備名と仕様 [既存(事業開始前)の設備含む] JST負担による設備： - 地域負担による設備： -																